

平成 23 年（2011 年）の恵庭岳の火山活動

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○2011 年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1～3）

7 月 19 日に実施した上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、山頂東側の爆裂火口に弱い白色噴気が認められましたが、これまでの観測結果と比べ噴気の勢いや量などに変化はありませんでした。

赤外熱映像装置¹⁾による観測でも、地熱域の状況に特段の変化はありませんでした。

1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

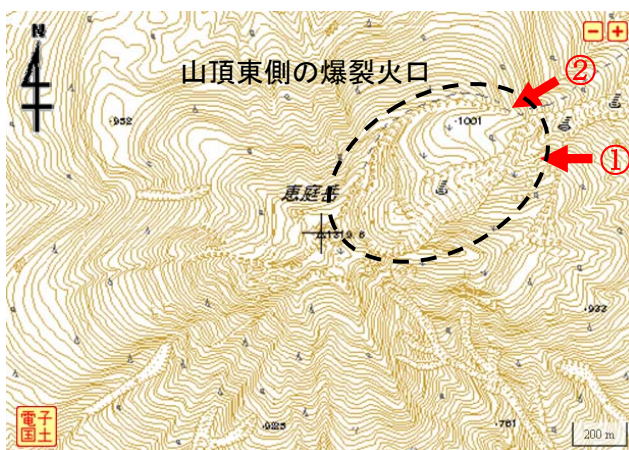


図 1 恵庭岳 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）



図 2 恵庭岳 山頂東側爆裂火口の状況
東側上空（図 1 の①矢印方向）より撮影

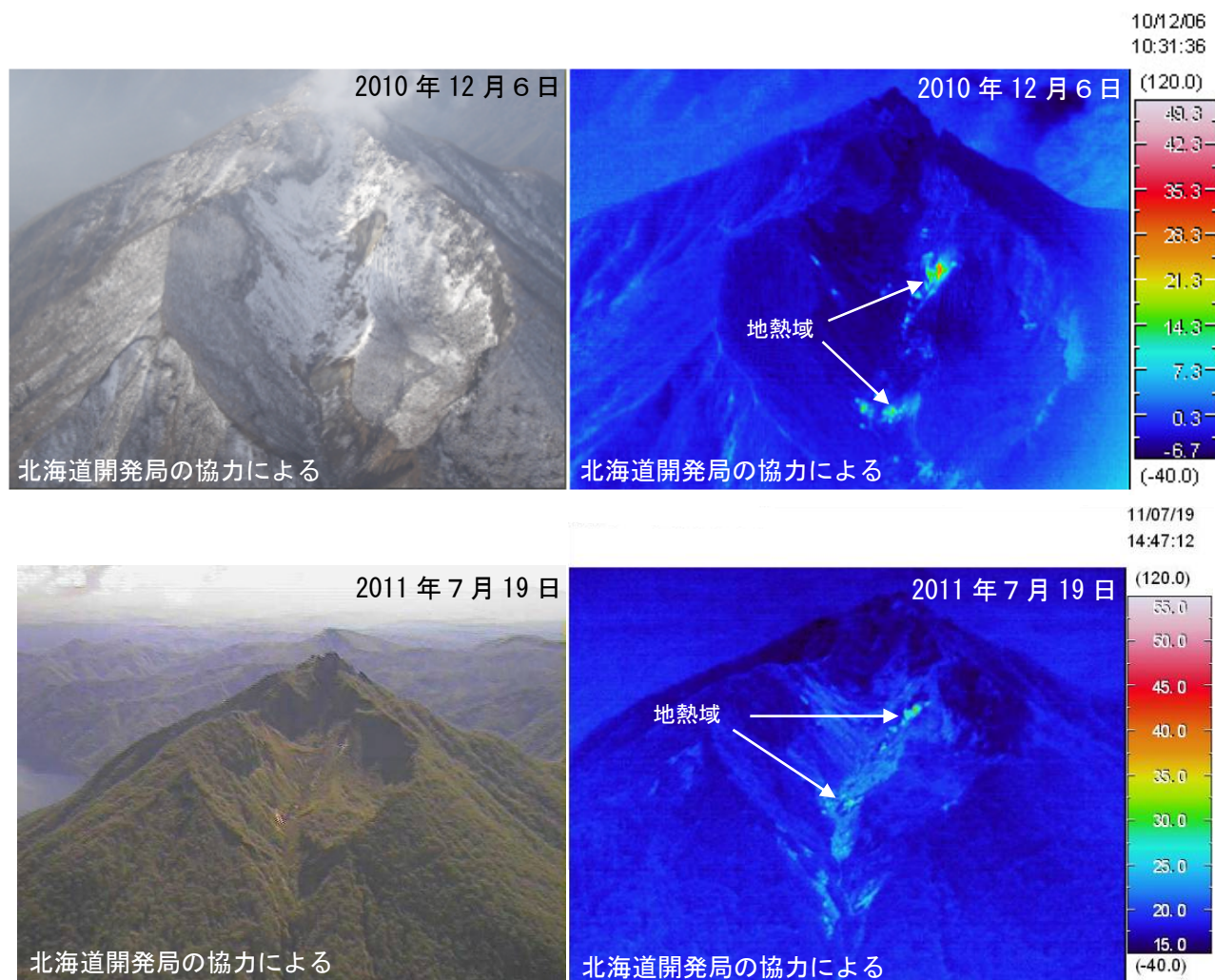


図 3 恵庭岳 赤外熱映像装置¹⁾による恵庭岳山頂東側爆裂火口の地表面温度分布
北東側上空（図 1 の②矢印方向）より撮影